

Library News



大山崎中学校図書館

令和7年 2月

今年度人気本 ベスト5 (集計期間 4/8～1/31 まで)

1位 『すべての恋が終わるとしても』 **冬野 夜空**

2位 『成瀬は天下を取りに行く』 **宮島 未奈**

3位 『変な絵』 **雨穴**

3位 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 **汐見 夏衛**

3位 『変な家 2』 **雨穴**

1位の『すべての恋が終わるとしても』は140字で完結する恋物語の超短編集です。気軽に読めて人気があります。2位の『成瀬は天下を取りに行く』は今年度本屋大賞受賞の話題本。いつも前向きで超真面目なのになぜかおもしろい成瀬のキャラクターと島崎との友情に喝采したくなる、近年まれに見るプラチナ本。男女問わずおすすめです。雨穴さんの『変な…』シリーズは今年も根強い人気。『あの花が…』は映画化の影響もあって、続編とともに良く読まれています。ベスト5からは漏れましたが、6位には中山七里の法廷ミステリー御子柴シリーズが初めてランクイン。読み応えのあるミステリーで、おすすめです。

蔵書点検のお知らせ

2月26(水)、27日(木)

期末試験中、図書室を閉館して蔵書点検をします。

返却期限を過ぎた本は必ずそれまでに返却してください。

もし家庭や教室に(学級文庫を除く)大山崎中学校のラベルが貼っ

てある本を見つけたという場合は図書室まで持って来てください。



新着本から

『ココロノナカノノ』 戸森しるこ

私の心の中にはいつも野乃がいる。双子の妹。お腹の中で10か月一緒に過ごしたのに、生まれる時に死んでしまった。今も野乃がそばにいたような気がするし、野乃の匂いを感じることもある。でもそんなこと誰にも言えない……中学生の寧音の日常を綴る、やさしくてちょっと不思議なお話し。最終章がとてすてきです。

『SNSのモヤモヤとの上手なつきあい方』 Poche

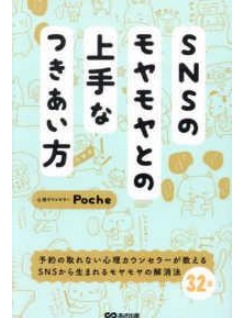
SNSを利用している人は誰しもモヤモヤしたことがあるのではないのでしょうか。「返信のリアクションやスタンプに何をを使うか迷ってしまう」「他人の誹謗中傷を見るとモヤモヤしてしまう」「フォローをはずされたけど、何かしちゃったっけ？」などなど…でも本書はそんなモヤモヤをすーっと除いてくれます。

『リラの花咲くけものみち』 藤岡 陽子

育ててくれた祖母を東京に残し、たった一人で獣医師になる夢を叶えるために北海道の大学に入学した聡里。無口で自分の思いを周囲に伝えることの苦手な聡里でしたが、先輩たちに助けられ、少しずつ寮生活になじんでいきます。そんなある日、実習先の牧場で馬の出産に立ち会った聡里は…北海道の大地と自然の厳しさ、美しさが心にしみる物語です。

『博士の長靴』 瀧羽 麻子

物語は1958年、スミがお手伝いさんとして藤巻家にやって来るところから始まります。天気のことしか頭にないような藤巻博士、息子、孫、ひ孫を約10年ごとに2022年まで描いた4世代の家族の物語。最初と最後をつなぐのは博士の差し出す長靴。暖かい思いに胸が満たされます。



司書のひとりごと 昨日の本棚から

『めざせ！ムショラン ミツ星』 黒枘 桂子

ムショランとはミシュランのもじりで、ムショは刑務所のムショ。この本は刑務所で出される給食の献立を決め、調理指導を行っている刑務所管理栄養士の笑いと涙の奮闘記です。学校や病院などでは調理員さんと呼ばれる人が調理をしますが、ここは刑務所。調理員など雇うはずもなく、調理は受刑者たちが当番で行います。男子刑務所なので、みな坊主頭でほとんどが料理未経験者。最初は戸惑うことばかりだった著者が受刑者たちに同じ釜のメシを作る仲間として接し、美味しいものを食べさせてあげたい、という熱意から生まれるレシピや工夫の数々に笑いながらも頭が下がります。

